

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3129919号
(U3129919)

(45) 発行日 平成19年3月8日(2007.3.8)

(24) 登録日 平成19年2月14日(2007.2.14)

(51) Int.Cl.

A 4 3 B 7/26 (2006.01)

F I

A 4 3 B 7/26

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2006-10330 (U2006-10330)
 (22) 出願日 平成18年12月20日(2006.12.20)
 (31) 優先権主張番号 20-2006-0024914
 (32) 優先日 平成18年9月15日(2006.9.15)
 (33) 優先権主張国 韓国(KR)

(73) 実用新案権者 506422641
 株式会社ハンビトレーディング
 大韓民国 釜山市 沙上区 132-7
 釜山デジタルバレー 1101号
 (73) 実用新案権者 506364592
 信洋通商株式会社
 大阪府堺市堺区戎島町3丁22-1 南海
 堺駅ビル3階302号室
 (74) 代理人 100071168
 弁理士 清水 久義
 (74) 代理人 100109911
 弁理士 清水 義仁
 (72) 考案者 キムマルソク
 大韓民国 慶南 金海市 サムバン洞 ト
 ンウォンアパート 102棟 1105号

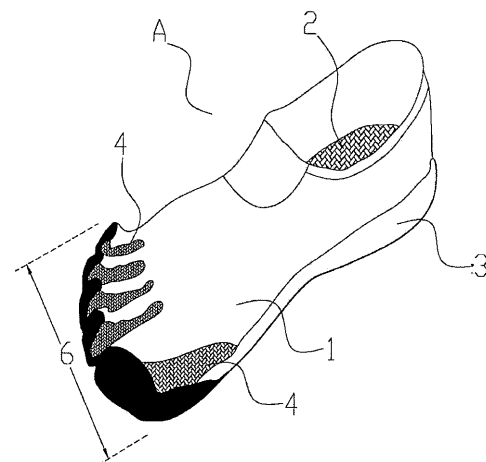
(54) 【考案の名称】 足指シューズ

(57) 【要約】

【課題】 足指シューズはシューズ着用時、着用者が足の指を自由自在に動かす事ができ、海、川、溪谷、山などの地形が平坦ではないところや、水中で活動する場合、着地しやすいように構成されており、歩行の活動性と着地感を増加させ活動の利便性を提供する。

【解決手段】 本考案は足指シューズに関するもので、より詳細には、シューズを着用したときシューズの先端部分である、足の指が位置する部分に5つの足の指挿入部6を分割形成し、足の指がそれぞれ個別に着用されるように構成された足指シューズに関するものである。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

甲被（１）とインソール（２）、ミッドソール（３）と一体型になったアウトソール（５）とで構成されたシューズであり、

シューズの先端部位である足の指が位置する部分に５つの足の指挿入部（６）が分割形成され、この足の指挿入部（６）に、足の指がそれぞれ個別に着用されるように構成されていることを特徴とする足指シューズ。

【請求項 2】

第１項に記載の足の指挿入部（６）は、足の指がそれぞれ個別に着用される足の指と足の指の間に弾力性と通気性の素材を利用した通気性甲被（４）と、シューズの先端部位である足の指挿入部（６）に５つの分割されたシューズのアウトソール（５）と５つの分割された甲被（１、４）とが一体型で構成されている足指シューズ。 10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この考案は足指シューズに関するもので、より詳細には、シューズを着用したときシューズの先端部位である足の指が位置する部分に５つの足の指挿入部を分割形成し、足の指がそれぞれ個別に挿入されるように構成された足指シューズに関するもので、足指シューズを着用時、着用者は足の指を自由自在に動かす事ができ、海、川、溪谷、山のような地形が平坦ではないところや、水中で活動する場合、着地しやすいように構成されていて、歩行の活動性と着地感を増加させ活動の利便性を提供する足指シューズに関するものである。 20

【背景技術】

【0002】

人体の足は最も太い親指と最も細い小指の間に人差し指、中指及び薬指があり正常な人間の場合親指の厚さ及び長さが最も長いため足の指の周囲に外部の衝撃が掛かる場合、最も大きな衝撃を受ける。

【0003】

また、正常な人間の場合、靴を脱いだ状態から親指と小指の底面が最も下方に偏っている。従って、底が平らな靴を着用する場合、親指と小指は靴底に密着する反面、人差し 30
中指及び薬指は靴底にほとんど密着しないため、足の指の前面と下面及び側面から来る衝撃を１次的に親指と薬指が受ける事となる。

【0004】

よって、運動競技、水中活動又はレジャー活動中に最も損傷したり変形しやすい足の指は親指と小指である。外部の衝撃が大きい場合、人差し指、中指及び薬指も親指と小指による押さえつけにより損傷される。

【0005】

一般的に靴はすべての足の指が靴の前面に挿入されるため、足の指のそれぞれに活動性 40
が無いだけでなく、着用感がよくなく、人差し指、中指及び薬指の下部の支えが無い上に、先に述べた足の指の構造と衝撃伝達に対する考慮が無い短所をもつ。

【0006】

また、現在の靴には足の指の間を保護する特別な器具が無い状態であるため、靴下の着用如何に関わらず靴を履いたときの足の指の通風が困難で、これにより発生しやすいカビにより皮膚の表面を侵し発生する代表的な疾患が水虫である。一般的に水虫は一日中靴と靴下を履いている人によくできる。

【0007】

従来はこのような水虫を治療したり防止するために足の指靴下を使用した。従来足の指靴下は靴下の先端部分である足の指の部分に５つの足の指挿入部を分割形成し足の指がそれぞれ個別に挿入できるようにした形態であった。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0008】

本考案は上記のような問題点を解決するためのものとして、靴を着用したとき靴の先端部位である足の指が位置する部分に5つの足の指挿入部を分割形成し、足の指がそれぞれ個別になるように構成された足指シューズに関するもので、足指シューズはシューズを着用時、着用者は足の指を自由自在に動かす事ができ、海、川、溪谷、山などのような地形が平坦でないところや水中で活動する場合、着地しやすいように構成されており、人差し指、中指及び薬指の下部を支え、運動競技やレジャー活動中、足の指に加えられる衝撃がすべての足の指に均一に拡散された後消滅する特徴を持ち、足の指の間の摩擦を最小化しつつ足の指の自由な動きを確保することができ、歩行の活動性と着地感を増加し活動の利便性を提供し、足の指に発生する汗と熱を容易に排出する事ができる通気性繊維を利用する事で、足の指に発生するカビによる水虫の発生を防止する特徴を持つ足指シューズを提供しようと思う。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本考案は足指シューズに関するもので、詳しくは、シューズを着用したときシューズの先端部位である足の指が位置する部分に5つの足の指挿入部を分割形成し、足の指がそれぞれ個別に着用されるよう構成された足指シューズに関するもので、足指シューズはシューズ着用時、着用者は足の指を自由自在に動かす事ができ、海、川、溪谷、山などのような、地形が平坦でないところや水中で活動する場合、着地しやすいように構成されており、歩行の活動性と着地感を増加させ活動の利便性を提供する足指シューズに関するものである。

【考案の効果】

【0010】

上記のような構成でなされた本考案はシューズを着用したとき、足の指がそれぞれ個別に着用されるように構成された足指シューズに関するもので、足指シューズはシューズの着用時、着用者は足の指を自由自在に動かす事ができ、海、川、溪谷、山などのような地形が平坦ではないところや水中で活動する場合、着地しやすいように構成されていて、人差し指、中指、薬指の下部を支え、運動競技やレジャー活動中、足の指に掛かる衝撃がすべての足の指に均一に拡散された後、消滅する特徴を持っており、足の指間の摩擦を最小化しつつ足の指の自由な動きを確保でき、歩行の活動性と着地感を増加させ、活動の利便性を提供し、足の指から発生する汗と熱を容易に排出できる通気性繊維を利用する事によって足の指に発生するカビによる水虫の発生を防止するなど、履き心地をよりよくしてくれる効果がある。

【考案を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、図面を参考にこれをさらに詳しく説明すると、図1は本考案の足指シューズの斜視図を表したものであり、図2は本考案の足指シューズの側面図を表したものである。図3は本考案の足指シューズの平面図を表したものである。

【0012】

図1は本考案の足指シューズの斜視図を表したもので、これを詳しく説明すると、シューズを着用したときシューズの先端部分である足の指が位置する部分に5つの足の指の挿入部（b）を分割形成し、足の指がそれぞれ個別に着用されるように構成された足指シューズに関するものである。

【0013】

弾力性と耐久性を持つ素材の繊維を利用した甲被（1）とインソール（2）、シューズのミッドソール（3）及び一体型になっているアウトソール（5）で構成されたシューズの先端部位である足の指が位置する部分に5つの足の指の挿入部（6）を分割形成し、足の指がそれぞれ個別に着用されるように構成されているのが特徴の足指シューズに関するものである。

10

20

30

40

50

【0014】

足の指の挿入部（６）には足の指がそれぞれ個別に着用され、足の指と足の指の間に弾力性と通気性の素材を利用した通気性甲被（４）で構成されており、シューズの先端部位である足の指挿入部（６）には、分割形成され足の指がそれぞれ個別に着用されるように５つの分割されたシューズのアウトソール（５）と５つの分割された甲被（１、４）が一体型で構成されていることを特徴とした。

【0015】

上記考案である足指シューズはシューズの着用時、着用者が足の指を自由自在に動かす辛ができ、海、川、溪谷、山のような地形が平坦ではないところや水中で活動する場合、着地しやすいように構成されていて、人差し指、中指、薬指の下部を支え運動競技やレジャー活動中、足の指に掛かる衝撃がすべての足の指に均一に拡散された後消滅する特徴を持っており、足の指間の摩擦を最小化しながら足の指の自由な動きを確保でき、歩行の活動性と着地感を増加させ活動の利便性を提供し、足の指から発生する汗と熱を容易に排出できる通気性繊維を利用する事により、足の指に発生するカビによる水虫の発生を防止する特徴をもった足指シューズを作ろうとした。

【0016】

以上の説明は本考案の技術事象を例示的に説明しただけに過ぎず、本考案が属する技術分野で通常の知識をもった者であれば、本考案の本質的な特性から抜けださない範囲で多様な修正及び変形が可能であるだろう。よって、本考案に開示された実施例は、本考案の技術事象を限定するためのものでなく、説明するためのものであり、このような実施例により本考案の技術事象の範囲が限定されるものではない。本考案の保護範囲は下記の請求範囲によって解釈されるべきで、それと同等の範囲内にあるすべての技術事象は本考案の権利範囲に含まれているものとして解釈されるべきである。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図１】本考案に係る足指シューズの斜視図である。

【図２】本考案に係る足指シューズの側面図である。

【図３】本考案に係る足指シューズの平面図である。

【符号の説明】

【0018】

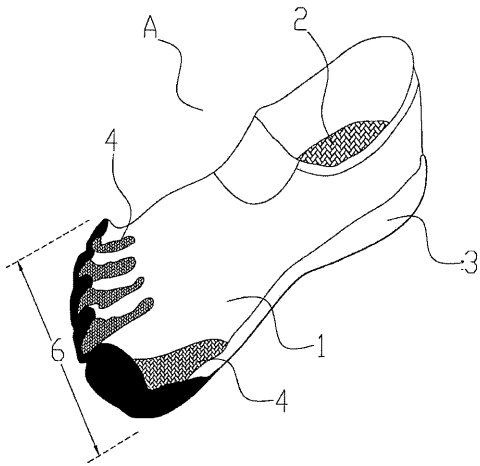
A・・・・・・シューズ
１・・・・・・甲被
２・・・・・・インソール
３・・・・・・ミッドソール
４・・・・・・通気性甲被
５・・・・・・アウトソール
６・・・・・・足の指挿入部

10

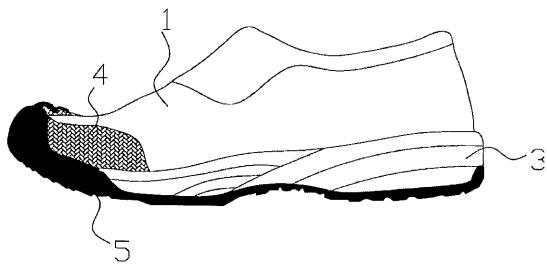
20

30

【図 1】



【図 2】



【図 3】

